

初代細胞製品（培養細胞）

白色脂肪細胞培養キット F-4(マウス)

【White Adipocyte Culture kit F-4(mouse), Code No. WAT03】

本製品は研究目的にのみご使用になれます。

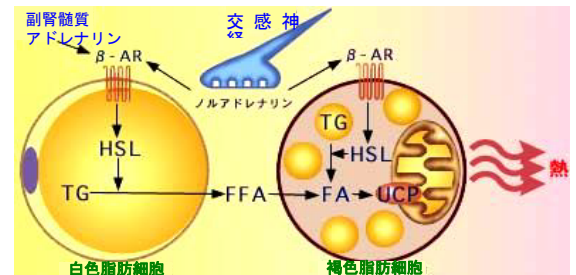
2018年11月19日改訂

I. 製品概要

白色脂肪組織は、摂取したエネルギーを貯蔵する場であり、その部位により脂質代謝メカニズムが異なる皮下脂肪と内臓周囲脂肪組織とに分けられます。皮下脂肪組織は、カテコールアミン等のホルモンに対する反応性が低く、皮下脂肪の分解にはアドレナリン、ノルアドレナリンの他、様々な因子が関与していると思われます。

本培養キットは、皮下脂肪の一つである胴回り皮下脂肪組織から白色脂肪前駆細胞を初代培養（Primary Culture）し、Semi-Confluent まで増殖したところで発送しております。入荷時の初代培養細胞、あるいは適当な培養皿もしくはマルチプレートに継代した細胞を培養方法に沿って培養しますと、徐々に白色脂肪細胞へと分化いたします。

本培養系を用いて、ホルモン非存在下での脂質代謝実験、糖代謝実験、抗・肥満・糖尿病薬のスクリーニング等が可能です。



II. 使用前注意事項

本マニュアルを使用前に必ずご確認ください。

本製品はすべて【無菌操作】で実施して下さい。バイオセーフティーレベルは【レベル1】です。

本製品の培養には付属の専用メディウムをご使用下さい。

III. 製品の保証について

製品は培養された状態で納品されます。到着後すぐに CO2 インキュベーターに入れて培養を開始してください。

製品は保存できません。到着後速やかに実験にご使用ください。

製品は到着時又は翌日に細胞の状態を確認して下さい。

専用メディウム及び試薬を用いてマニュアル通りに培養された場合のみ、製品到着後の生育不良に関して保証いたします。当社、製品サポート（メール：primarycell@cosmobio.co.jp）までご連絡下さい。

保証期限は【製品お受け取りから翌日まで】です。

また、増殖不良や分化不良に関しては、製品サポートまでお問い合わせ下さい。

メディウムや使用方法に変更を加えられた場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。



IV. 製品構成

キット構成	F-4 キット
白色脂肪前駆細胞	25cm ² フラスコ×4 本
増殖用メディウム	125mL ×1 本
分化誘導用メディウム	125mL ×1 本
脂肪細胞維持メディウム	250mL ×1 本

※専用メディウムは単品販売もごございます。詳しくは Web(www.primarycell.com) からご確認ください。

使用動物組織 : ICR マウス・新生児 (2~4 日齢)
細胞採取日 : XXXX 年 XX 月 XX 日
発送日 : XXXX 年 XX 月 XX 日
Lot No. : XXX-X-XXX

V. 各メディウムの組成

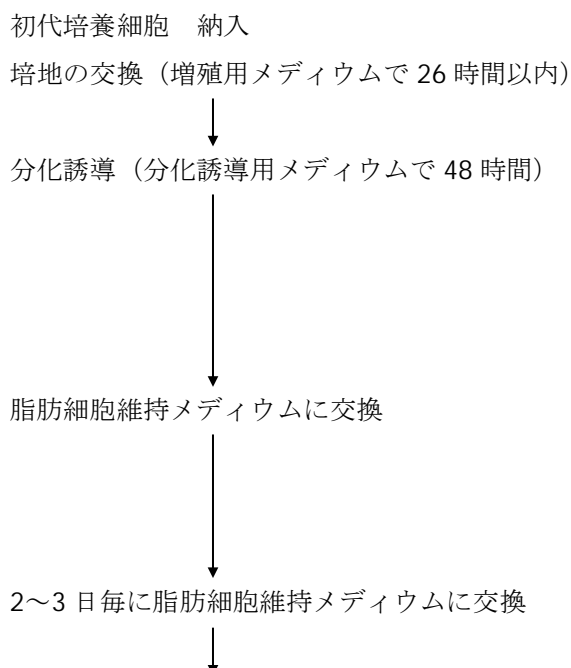
品名	主成分
増殖用メディウム	D-MEM (high glucose)、血清、その他
分化誘導用メディウム	D-MEM (high glucose)、血清、Dexamethasone、Insulin、その他
脂肪細胞維持メディウム	D-MEM (high glucose)、血清、Insulin、その他

VI. 操作方法

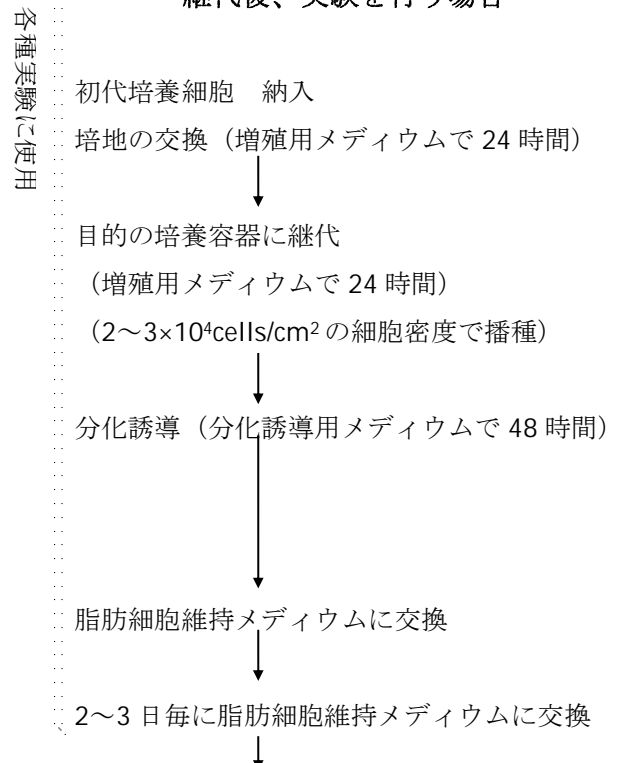
※本製品は【1回継代可能】です。

フローチャート

初代培養細胞を用いて実験を行う場合



継代後、実験を行う場合



www.primarycell.com

マウス白色脂肪前駆細胞は、出荷時にフラスコ内を増殖用メディウムで満たした状態で禁冷凍発送しております。商品がお手元に届きましたら、直ちに位相差顕微鏡にて細胞を観察し細胞が剥離していないかご確認下さい。またマウス白色脂肪細胞は、継代を繰り返すことによりその分化能が低下します。各種実験は、商品到着時の初代培養細胞、もしくは1度だけ継代した細胞を用いて行って下さい。

初代培養細胞を用いて培養を行う場合

1. 輸送用に加えてあるメディウムを無菌的に吸引除去し、室温に戻した増殖用メディウムを各フラスコに5mlずつ加えた後、フラスコのキャップをゆるめた状態で5%CO₂存在下37°Cインキュベーターで培養してください。
2. 翌日、細胞がほぼコンフルエントに達したのを確認後、増殖用メディウムを吸引除去し、室温に戻した分化誘導用メディウムに交換する（分化誘導用メディウムで48時間）。

注1) 細胞がフルコンフルエントに達した後に分化誘導を行いますと、細胞が剥離し易くなったり、その後の分化能が低下することがあります。分化誘導は、商品が到着して増殖用メディウムに交換した後26時間以内に行ってください。

3. 脂肪細胞維持メディウムに交換し、5~7日間培養する。徐々に脂肪滴が蓄積していく様子が観察できる。脂肪細胞維持メディウムに交換後、5~7日間培養以内に実験されることをお勧めいたします。

注2) これ以上培養日数を延ばしたい場合はメディウム交換しさらに培養を継続することができますが、細胞が剥離しやすくなりますので取り扱いには慎重にしてください。

継代後、実験を行う場合

【準備するもの】

- ・滅菌済みPBS(-) ; Ca、Mgを含まない生理的リン酸緩衝溶液
- ・トリプシン溶液 ; Trypsin-EDTA (0.05%)
- ・実験に使用する培養用フラスコ、マルチプレート等。(コラーゲンコーティング済みのもの)

1. 輸送用に加えてあるメディウムを無菌的に吸引除去し、室温に戻した増殖用メディウムを各フラスコに5mlずつ加える。
2. 翌日、細胞がほぼコンフルエントに達したのを確認後、増殖用メディウムを吸引除去し、室温に戻した滅菌済みPBS(-) 5mlでフラスコ内を洗浄する。

注3) 細胞がフルコンフルエントに達した後に継代を行いますと、細胞が接着しにくくなったり、その後の分化能が低下することがあります。

3. 洗浄に用いたPBS(-)を吸引除去する。
4. 室温に戻したトリプシン溶液3mlを加えてフラスコ底面全体に行き渡らせ、すぐさま余分なトリプシン溶液を抜き取る。細胞が丸くなったのを位相差顕微鏡で確認後、軽く手のひらでフラスコをたたき、細胞がフラスコから剥がれて流動する様子が観察されるまでトリプシン処理を行う。

注4) 細胞がフラスコから剥がれにくい時は、数分インキュベーターに入れて加温して下さい。長時間(15分以上)のトリプシン処理は、その後の分化能が低下することがあるので避けて下さい。

5. 細胞が剥がれたのを確認後増殖用メディウムで細胞を回収し、2100rpmで10分間遠心して上清を吸引除去する。
6. 増殖用メディウムを加えて細胞懸濁液を調製し、細胞数をカウントする。
7. 細胞懸濁液を翌日細胞がコンフルエントになる細胞密度に増殖用メディウムを用いて希釈し、コラーゲンコート済みの培養容器(フラスコ、マルチプレート等)に播種する。
2~3×10⁴cells/cm²の細胞密度で播種すると、ほぼ1日でコンフルエントに達する。

目安として1フラスコから25cm²フラスコを使用する場合3フラスコ、24Wellプレートの場合1.5

プレート分に継代可能です。

8. 継代翌日、細胞がほぼコンフルエントに達したのを確認後、増殖用メディウムを吸引除去し、室温に戻した分化誘導用メディウムに交換する（分化誘導用メディウムで48時間）。
9. 脂肪細胞維持メディウムに交換し、5～7日間培養する。徐々に脂肪滴が蓄積していく様子が観察できる。
10. 脂肪細胞維持メディウムに交換後、5～7日間培養以内に実験されることをお勧めいたします。

これ以上培養日数を延ばしたい場合はメディウム交換しさらに培養を継続することができますが、細胞が剥離しやすくなりますので取り扱いには慎重にしてください。

注意：本培養キットは、1キット毎 Primary Culture しておりますので、Lot により褐色脂肪細胞の分化率が若干異なる場合があります。

VII. 参考文献

- 1) Hajime Sugihara, Nobuhisa Yonemitsu, et al. Unilocular fat cells in three-dimensional collagen gel matrix culture. J. Lipid Res., (1988) Vol.29, No 5, May
- 2) G.Ailhaud, P. Grimaldi, and R. Negrel, Cellular and molecular aspects of adipose tissue development. Annu. Rev. Nutr., (1992) 12:207-233
- 3) 毛利義明、徳永勝人、日本臨床 53 巻 (1995) 特別号
- 4) Yasutake Shimizu, Danuta Kielar, Yasuhiko Minokoshi and Takahashi Shimazu, Noradrenaline increases glucose transport into brown adipocytes in culture by a mechanism different from that of insulin. Biochem. J., (1996) 314:485-490

《本製品をご利用になられた文献、発表データ》

本製品をご利用いただき投稿された論文、学会発表パネルなどを送付いただきましたお客様に粗品を進呈させていただきます。ご提供いただきました論文などは、WEB やカタログ、技術資料を通じて多くの研究者の方への技術情報として利用させていただく場合がございます。是非皆様のご協力をお願いいたします。

送付先：〒047-0261 北海道小樽市銭函3丁目513番2
コスモ・バイオ株式会社 札幌事業部 あて郵送
または primarycell@cosmobio.co.jp あて PDF ファイル送信



〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル
URL : <http://www.cosmobio.co.jp/>

● 営業部（お問い合わせ）
TEL : (03) 5632-9610 FAX : (03) 5632-9619
TEL : (03) 5632-9620

● 札幌事業部（技術的なお問い合わせ）
TEL : (0134) 61-2301 FAX : (0134) 61-2295
E-mail : primarycell@cosmobio.co.jp
URL : <http://www.primarycell.com/>